

ロンドン、2020年2月26日

ドイツ・コンステリウム社ジンゲン工場向け、アルミニウム用タンデム冷間圧延機の近代化工事を完工

- 最新の設備により、コンステリウム社ジンゲン工場における高付加価値アルミニウム圧延の品質、生産性、および稼働率を向上

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、ドイツのコンステリウム社ジンゲン圧延工場（以下、コンステリウム社）向けタンデム冷間圧延機2基の近代化工事を完工し、最終検収書（FAC）を受領しました。この近代化プロジェクトは、ストリップの品質パラメータを改善し、生産性を高め、オートメーションシステムを近代化することにより、稼働率と再現精度を向上させることを目的として実施されました。

当社の供給範囲は、圧延機2基の最新のオートメーションシステムと、機械および油圧設備の改修工事でした。これらの近代化プロジェクトにより両圧延機の生産効率がさらに向上し、拡大を続けるアルミニウム市場におけるコンステリウム社の主導的地位が一層強化されます。

近代化された2基のうち、まず3スタンド式タンデム冷間圧延機が、ローラーテーブルと冷却セクションを介して、上流側の熱間圧延機からダイレクトにアルミニウムのプレストリップを受け取ります。3スタンドタンデム冷間圧延機の出側で巻き取られたコイルは、高層の保管エリアを経由して2スタンドタンデム冷間圧延機に送られ、冷却後、最終的な板厚になるまで圧延されます。これらのクラスで最高の圧延設備は、顧客の品質要求を最大限に満たし、生産プロセスのさらなる最適化を実現します。

コンステリウム社（NYSE：CSTM）は、自動車、航空宇宙、パッケージングなどの様々な業界や応用分野に向けて、革新的な高付加価値アルミニウム製品を開発している世界大手のアルミニウム材メーカーです。2018年の同社の売上高は57億ユーロに達しています。



コンステリウム社のドイツ・ジンゲンにある圧延工場の全景。同工場の2基のタンデム冷間圧延機を近代化（写真提供：コンステリウム社）。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>